

令和3年度 第1回 大阪市障がい者施策推進協議会 障がい者計画策定・推進部会
議事要旨

日時：令和3年10月28日（木）午前10時～午前11時30分

会場：大阪市役所 地下1階 第11会議室

【議題1 「大阪市障がい者支援計画・第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画」の実施状況について】

《 資料1-1, 資料1-1別紙、資料1-2～1-4について説明 》

- ・就労移行支援事業所から就ポツに繋がった場合、どのように支援されるのか教えたい。
 - ・就労定着支援事業所の利用後、ご本人の希望により、就業・生活支援センターで定着支援を行っている。就業継続の取組は、当事者にとって何が必要かを関係機関が連携してまとめていく必要があり、就ポツが中心となり、就労定着支援事業所と組んで勉強会などを実施している。
 - ・グループホームでの重度訪問介護の個別利用にかかる今後の方向性について教えてほしい。
- ⇒現在、関係先とも協議しているところで、今後、進捗状況についてお示しさせていただきたい。
- ・グループホームの利用が3年を期限に切られてしまうという話を聞いたが。
- ⇒国において、グループホームに入居される方、特に軽度の方についての見直しが検討されていると聞いているが、具体的にはまだ示されていない。利用されている方の行き場が無くなることのないよう国にも要望してまいりたい。
- ・新型コロナウイルス感染症により様々な問題が発生し、これまでの施策がうまく進まないという状況がある。何が必要だったのかをどのように把握し、どのような課題意識を持っているのか。
 - ・この間、大阪市でも様々な取組をされているが、第6波も十分懸念される中で、今までの経験を生かし、次はどうしていくのか議論できる資料を出して頂きたかった。
- ⇒これまで、感染防止対策を第1に取り組み、次には、障がい福祉サービスを継続できるよう取り組んできた。この間の経験を踏まえ、第6波には迅速な対応ができるよう、また、3回目のワクチン接種もスムーズに進められるよう取り組んでまいりたい。
- ・精神科病院入院中の者が最も大変だったことは、新型コロナウイルス感染症の治療に関する専門病院への転院率が非常に悪く、1割位の人しか転院することができない。大阪市内の精神科は総合病院であるが、罹患者の対応を具体的に準備していただけると安心する。
 - ・障がいがあるが故の困難性について、どう対応していくのか議論することが、障がい者支援計画の具体化に繋がっていくのではないかと思う。そういう視点で課題を整理し、議論できる場をぜひ設けていただきたい。
 - ・長居障がい者スポーツセンターについて、どのような方向で話が進んでいるのか。
- ⇒47年が経過しており、老朽化が進んでいる。早急に方向性を検討していきたい。

【議題2 「大阪市障がい者支援計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画」の策定及び次期計画の策定に向けての取組みについて】

《 資料2-1～2-2について説明 》

- ・新型コロナウイルス感染症のことを抜いて次期の計画を策定することはありえない。

【報告事項 「大阪市手話に関する施策の推進方針」の改訂について】

《 資料3-1～3-4について説明 》

- ・障がい福祉担当部局だけでなく、他部局にどのように理解いただくのが工夫が必要。条例だけ作って、それで解決するという話ではない。
- ⇒各部局での取組の集約や共有、ホームページ等も活用し、市民も含めて周知に努めたい。

【報告事項 「障害者優先調達推進法」に基づく本市の調達実績について】

《 資料4について説明 》

- ・質疑等なし。